

Watashi Omitama

vol. 1
2020 Spring



茨城 小美玉から始まる、
ワタシの暮らし。

OMITAMA LIFE STYLE NEWS PAPER



「デザイナーと学ぶ、やさしいデザインラボ」について

「デザイナーと学ぶ、やさしいデザインラボ」は、計5回のプログラムで実施しました。デザイナーやライター、広報など、各回に情報発信の専門家を迎え、レクチャーを受けます。小美玉市シティプロモーションの一環ですが、このプログラムの主役は、参加者のみなさん。「とにかく楽しむ」という主旨のもと、2019年10月から毎月1回開催されました。

1 小美玉の情報を整理する (2019年10月18日)

まずは、小美玉について各参加者が考える魅力や特徴を整理します。この日に迎えた講師は、デザイナーの鈴木潤さん。デザインの基礎を講義していただきました。



鈴木 潤さん (インクデザイン合同会社 代表社員)

1974年生 茨城県日立市出身 B型
1992年、地元を飛び出して、大学留年中にMacに出会い衝撃を受けデザインの仕事をめざす。
2013年、コーポレートツールのデザインに特化したインクデザインを創業。
2017年、生まれ故郷の日立市と東京との二拠点活動を始める。
2019年、茨城県に特化した共感型求人サイト「いばしごと」を始動。

2 ひとへの伝え方を考える (2019年11月22日)

参加者でグループに分かれて雑誌をコラージュ。1つの紙面を作り、情報をまとめる体験をしました。講師は、結城市で「結びプロジェクト」に取り組む小池隆夫さん。



小池 隆夫さん (GRAPHIC DESIGN OFFICE DIVE)

1981年茨城県結城市生まれ。株式会社トランクを経て、2019年 GRAPHIC DESIGN OFFICE DIVEとして独立。結城市の資源を活かした持続可能なコミュニティ形成活動に取り組む「結びプロジェクト」での活動をはじめとして、ブランディング/ロゴ/商品パッケージ/ウェブサイト/広告/サイン計画など、グラフィックデザインの領域を中心に活動。専門学校文化デザイナー学院広告プロモーションデザイン学科非常勤講師。

3 インタビューワーク&カメラワークを学ぶ (2019年12月13日)

ライターとカメラマンとして、下妻市を拠点に活躍する佐野匠さんから取材に必要なことを学びます。参加者同士でインタビューを練習し、取材に向けて準備しました。



佐野 匠さん (フリーランスライター&カメラマン)

1985年茨城県下妻市生まれ。20代半ばに東京から地元に戻るも、キャリアもスキルも学歴も無かったため、悩んだ末にボランティア活動に参加し、その中で写真、文章、デザイン、企画、イベント運営などのノウハウや経験値を蓄積。最近やっとライターやフォトグラファーの仕事を受けられるようになりました。カッコいいと思うものは、マグナム・フォトとナショナルジオグラフィック。

4 情報をまとめるための情報共有 (2020年1月14日)

取材後初のワークショップ。小美玉市出身の田中昭信さんからレイアウトについての講義を受け、グループごとに報告。今回は場所を変えて「FreewheelinG」に集まりました。



田中 昭信さん (グラフィックデザイナー)

デザインプロダクションにてグラフィックデザイナーとして、カタログ、ポスター、CDジャケットなどを手掛け、ビジュアルデザイン、店舗展開、広告展開に多く携わる。
web領域への展開の必要性を感じWEB制作会社へ。ビジュアルデザイン、UIデザイン、コンセプト開発に携わる。if design projectをきっかけに、副業的にちよつとづつ筑波を中心にデザイン活動中。

5 情報を発信するためのテクニック (2020年2月21日)

PRで活躍するたかはしあすかさんを講師に迎え、SNSを使ったPRの方法や注意点を伺います。タブロイド誌の製作もいよいよ大詰め。全員の意見をまとめました。



たかはし あすか (ひとしずく株式会社 PRコンダクター)

大学在学中、学生団体やNPOの活動に取り組むなかで広報の重要性を感じたことから、大学卒業後、PR会社に入社。2018年より、ソーシャルグッドに特化したPRエージェンシーである、ひとしずく株式会社に所属。
広報・情報学修士。

Watashi Omitama

『Watashi Omitama』について

『Watashi Omitama』は、「デザイナーと学ぶ、やさしいデザインラボ」から生まれた“参加者主体でつくる情報発信ツール”です。小美玉市内や、ときには石岡市や笠間市などから集まってくれたみなさんが、話しあってテーマを決め、市内の方々に取材・撮影し、原稿の執筆、写真のセレクトを行って、作り上げました。最初から最後まで、参加者の想いと苦勞、熱意が詰まったタブロイド誌です。

staff

運営チーム紹介

鈴木 高祥 (企画・ファシリテーター)

みなさんとともに、デザインの考え方を学びながら行ったワークショップ。みなさんのアイデアや考え方を知らうちに、小美玉を発信する1人となってしまいました！

松本 麻美 (フリーランス編集者)

小美玉市。初めて聞いた時は、とてもキレイだなと思った名前です。今回のラボは、小美玉市の魅力を知り、参加者の方々の素敵さを感じる機会となりました。ありがとうございました！

鈴木 潤 (デザイナー・アートディレクター)

今回はスタッフとともにプロジェクトに参加しました。参加者の皆さんの熱量をどのように受け止めるか？デザイナーとしてやりがいと気づきの多い、楽しい仕事でした。

watashi omitama

取材MAP

カフェギャラリー ベルデ →P7
江戸575-5

RIKA チョークアート工房
ポストカードから壁画まで
幅広く手がける
→P6

LINK HOUSE -民泊-
張星497-12
3匹のねこと遊ぶこともできる
“ニャン泊”の家
→P6
こちらから宿泊予約ができるよ!

アトリエ プティ・ポア
小岩戸字北原1887-1
→P7

柳澤いちご園*
「とちおとめ」を育てる
真面目で実直ないちご農園
→P4

FreewheelinG
張星497-1
表紙撮影をした
ノスタルジックなカフェ
→P4

立原いちご園*
鮮やかな赤色が特徴の
「いばらキッス」を栽培
→P4

小美玉市役所
ラボは、主に市役所で
実施されました。
→P4

パイオニアファーム*
1,000頭以上の乳牛を
飼育する、メガファーム
→P6

耳守神社
栗又四ヶ 2051
→P5

空のえき そ・ら・ら
山野1628-44
→P7

百里神社
山野1690-1
→P5

そが 素鷲神社
小川古城1658-1
神様を現代的な絵で表した
「祭神画御朱印」が人気
→P5

※柳澤いちご園・立原いちご園・パイオニアファームは
一般の方の見学を受け付けておりません

OFF
SHOT!



苺一笑

「いちごいちえ」

人生の岐路に小美玉で
いちごを育てることを選択した若手農家に
話を聞いたら(思いがけず)ドラマチックだった件



小さな一粒に大きな夢をつめて
夫婦で創り出す

立原 友明さん(41) 立原いちご園

作っている品種：いばらキッス

甘味と酸味のバランスが良く、鮮やかな赤色をしています。生まれて8年という若い品種なので、これからの市場での活躍に期待が高まります。



「立原いちご園」があるのは、小美玉市柴高。立原さんはもともと建設会社の現場監督として働いていました。農業で家族を養っていたお父さんも「(友明は)農業なんてやらなくていいから」と言っていたそうです。

そんな立原さんがいちご農園を始めたのは、末期がんを患っていたお父さん亡くなったのがきっかけでした。遺された機械や施設、借りている田んぼ、後継者のいない農業の現状を目の当たりにしたときに、立原さんは「自分がやるしかねえ!!」と決断しました。

そこからは挑戦と挫折の日々です。小さいころにちょっと手伝っただけで、農業なんて全く分かりません。それでも、お母さんと2人で何とか続け、3年前には、最高で最良かつ最強のパートナー有樹さんと結婚。有樹さんの協力のもと、2020年、彼は1つの挑戦をしました。それは茨城県内で行われるいちごグランプリにエントリーすることです。自分が育てたいちごに付加価値をつけ、もっと美味しいいちごを作るためです。

1月下旬、グランプリの結果が出ました。初エントリーで見事に「金賞」を受賞! しかし最高位の「大賞」は逃してしまいました。「結果を踏まえて課題も分かってきました。大賞を取るために1つひとつ課題をクリアしていきます!」彼らの挑戦は続きます。「農業は挑戦し続けられるのが面白い」と有樹さん。友明さんは「自分が美味しいと自信をもって胸張って言える作物を、これからも作っていききたい!」と熱く語っていました。



甘美な一粒のために
脱サラ農家が真面目に向き合う

柳澤 剛さん(40) 柳澤いちご園

作っている品種：とちおとめ

生まれてから20年以上も愛され続けている品種で、食味が良く、業務用にも多く使われています。いちごといえば、多くの人がとちおとめを連想することだと思います。



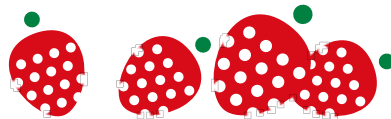
「柳澤いちご園」は、小美玉市部室にあります。柳澤さんは30歳の時に一念発起し、農業を始めようと決断しました。会社を辞め、農業学校に半年間通い基礎を勉強。農業普及センターにも相談して、ハウスでいちごを作ることを決めました。

しかし、ハウスを建てるにはたくさんのお金が必要です。サラリーマン時代に貯めたお金を全てつぎ込み、さらに借金をして、合計8棟のハウスを建てました。

いちごの栽培が始まったのは、10年前のこと。この10年間は、自然を相手に試行錯誤の連続だったと柳澤さんは言います。2019年の大型台風にも負けず、何とか今年も実をつけることができた、と笑顔で語ってくれました。

真面目で実直な彼が作るいちごには当然ファンがつき、取材のときにも、直接買いにきていました。「スーパーのより断然美味しいんです!」。

「農業は自由。何を作るかも、どうするかも自分で決められる。起業したいと考えている人にお勧めです。全て自己責任になりますけどね(笑)」と、責任感を持って農業に向き合っている柳澤さんは、とても輝いていました。



父を越える珠玉の一粒を
次世代農家が目指す

根崎 治さん(39) ストロベリーファーム根崎

作っている品種：やよいひめ

やよいひめには、2つの特徴があります。1つ目は、大きく瑞々しい実。2つ目は、メロンにも匹敵する甘味です。



小美玉市上吉影にある「ストロベリーファーム根崎」。ここでは当初、とちおとめを栽培していました。ところが、治さんのお父さんが、やよいひめの実が大きく瑞々しいところに惚れこみ、栽培品種をやよいひめ一本に。それで勝負することを決めたのです。

やよいひめの果実の色には、あまり赤みが入りません。それもあって、なかなかその魅力に気付いてもらえず、売れない日々が続いていたそうです。そんなある日、街ブラ系のテレビ番組が農園にやってきました。番組内でやよいひめの美味しさを紹介してくれたことで、一気に知名度が上がりました。今では、土日には整理券を求める人が列を作り、市内・市外からお客さんが来るほどの人気ぶりです。

実は、治さんは1度いちご農家を辞め、別の職業に就いています。小さい頃から、とちおとめ、やよいひめを栽培するお父さんの背中をずっと見続け、何となく「自分も後を継いでいちご農家をやっていくんだろうなあ」と考えていました。その延長で何となく農家になり、何となく日々の作業をこなしていたある日……。このままではダメだ!と思い立ち、一旦、農業から離れる決断をしました。

治さんが再びいちごハウスに戻ってきたのは2年前のこと。3年もの間、外の世界に触れ、様々なことを吸収してきた治さんの、これからの活躍がとても楽しみです。

【ストロベリーファーム根崎】

〒311-3403 茨城県小美玉市上吉影744-26 営業時間 9:30頃～売り切れまで
電話 0299-52-1202 販売時期 12月上旬～5月下旬

川島 拓

地元小美玉に個性豊かなカッコいい農家がいらっしやることを知って、とても嬉しく思いました。

齋藤 友幸

小美玉市民8年生の68歳です。こんなに大きくて甘いいちごがあったのかというのが驚きました。

Editor's Voice

保田 知紀

農家の頑張りを紹介する記事を書きたいとずっと思っていました。快く取材を受けて下さった、立原さん・柳澤さん・根崎さんに感謝申し上げます。

木村 圭介

何気なく食べていたいちごに沢山のドラマがあったことを知りました。農家の方々とお小美玉の大地に感謝です。





住所 小美玉市小川1658-1
TEL 0299-58-0846
御朱印・お守り授与所 10:00~16:00
WEBSITE <https://www.sogajinja.com/>
Twitter <https://twitter.com/sogajinja>
Facebook <https://www.facebook.com/sogajinja/>



東京都小金井市 新井さん

百里神社に参拝したのち、御朱印をもらいに素鷲神社に来た。航空機が描かれている百里神社の御朱印は、とても貴重とのこと。「神社がいいね」というアプリで、受けた御朱印の写真を撮ってアップしているほどの御朱印好き。「旅の記録になるのが良いですね」。



百里神社の御朱印



耳守神社の御朱印



禰
宜

—— 木名瀬 真大(きなせまさひろ)さん

御朱印への思いに胸が熱くなった

宮司・木名瀬さんの長男であり、祭神画御朱印を描く禰宜・貴志さんのお兄さんである真大さんは、禰宜を務める。伊勢神宮で10年間修行したのち、2018年4月に素鷲神社へ戻ってきた。

素鷲神社では、4つの他の神社の御朱印も授与している。例えば、全国的にも珍しい耳の神様の「耳守神社」、旧百里原海軍航空隊の守護神として天照大御神をお祀りし、貴志さんが戦闘機の御朱印を描く「百里神社」など(写真上)。ある日、真大さんが社務所で御朱印の授与と受付をしていたとき、ひとりの女性が訪れた。話をしてみると、病気になってしまった子どもの回復祈願に京都府から来たそうで、飛行機が大好きな子どもに百里神社の御朱印を見せたい、とのことだった。その後、百里基地航空祭が開催されたとき、女性が子どもを連れ、「おかげさまで元気になりました」と、参拝してくれたという。「本当に嬉しくて、胸が熱くなりました」。

真大さんには、学生時代からやっている雅楽の演奏会を、貴志さんで行う夢がある。「これから、神社や神道を多くの人が身近に感じていただけるよう、積極的に情報発信をしていきます」。

茨城県神栖(かみす)市 田沼さん

鹿島神宮で御朱印の授与を待っているときに、その場にいた人から素鷲神社の祭神画御朱印を見せてもらった。それをきっかけに、素鷲神社に来るようになり、いまでは週1回は参拝に訪れる。とても熱心なファンで、素鷲神社で受けた御朱印をたくさん見せてくれた。「人との出会いや仕事への活力になっています」。



小美玉市小川の総鎮守・素鷲神社。1529年に創建され、素戔嗚尊、櫛稲田姫命をお祀りする。

ここで授けている「祭神画御朱印」はとても人気で、月に1,000人以上がこれを目当てに全国から訪れる。描くのは、宮司・木名瀬尚孝さんの次男である禰宜・貴志さん。二神の姿を御神徳「結び」と「和」にちなんで「結和の御朱印」として親しみやすく表現する。参拝者と神様の御神縁が結ばれるようお願いを込めているという。御朱印授与所で禰宜が対応してくれることもある。ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

写真右下：祭神画御朱印(素戔嗚尊) 左下：御朱印帳 左上：神獣画御朱印 ※御朱印の絵柄は時季により変わります

—— 木名瀬 尚孝(きなせなおたか)さん

現代風な神様の姿で親しみやすく

「祭神画御朱印によって、環境が大きく変わった」と木名瀬さん。10年ほど前から御朱印の授与はしていたが、祭神画がついたのは、約3年前。出雲大社での修行から戻った次男貴志さんから、御朱印を絵付きにしようかと提案されたのだ。「神社の隣に小学校があり、地元の神社や神様を子どもたちに知ってもらいたい、と親子で話していました。そこで絵を描くのが得意だった次男が、神様の姿を親しみやすく現代風にした祭神画御朱印を誕生させました」。

できた祭神画御朱印はロコミやSNSなどで全国に広がった。季節や神社の行事などに応じて新しくなる祭神画を楽しみに、定期的に訪れる参拝者も現れた。「地元に限られた範囲での信仰の対象だった神様の御神徳が全国に広まるのは嬉しいことです」と笑顔で話す木名瀬さん。総代や役員曰く、創建以来の491年の歴史で、いまが最大の賑わいだそうだ。

宮
司



保田 孝雄

取材を通して新たな知識や
気づきを得る事ができました。
ワクワクする話は最高です!

永野 恵美子

小美玉市で御朱印が人気の
素鷲神社の取材。御朱印ファンの方々との
出会いもあり楽しくやらせて頂きました。

立原 裕之

遠く存在と思っていた神職の方を
身近に感じる事ができ、地域への
思いも知れて嬉しくなりました。

田村 美穂子

昔から馴染みある地元の
神社について、この取材を通して
新たに知ることができました。

Editor's
Voice



牧場をまもるハンター

パイオニアファーム

1,000頭以上の乳牛を飼育している茨城県内屈指のメガファームには13匹の猫が暮らす。ミルクを搾る機械をねずみから守るために奮闘中だ。ご褒美は搾りたての牛乳。牧場の朝倉さんは「小さい頃から猫と一緒に、忙しい仕事の合間に癒してもらっている」とのこと。



朝倉 梢さん

ちょっと遠いから車でGO!



小美たまネコ

まちで出会えるネコ達

そこにいるだけで癒されるネコ。そんなネコに出会えるスポットをご紹介します。小美玉に住んでいるネコはどんな暮らしをしているのかな？



菊池 理香さん

もれなく猫の手貸します!

RIKA チョークアート工房

オイルパステルで描くチョークアート。その工房に、レッスンで訪れる人の毛繕いをしてあげる心優しいこげ助。豆助と34cmのしっぽを振り回して、プロレスもとい、テーブルをお掃除中。猫の作品展をする程猫好きなチョークアーティストのRIKAさんは、猫の「悪かわいさ」がたまらないポイントだそう。

3匹の猫のおもてなし

民泊 LINK HOUSE



瑠璃

絵馬

琥珀



立原 裕之・陽子さん

素晴らしい跳躍を見せる琥珀。おっとりでくいしん坊の瑠璃、控えめ甘えん坊の絵馬。6人まで泊まれる、猫と遊べる民泊では、個性ある3匹の猫がお出迎え。猫カフェよりも一緒に過ごす時間が長いからゲストとも仲良しに。運が良ければベッドと一緒に寝られるかも。



豆助

こげ助

大場 瞬

猫のように好奇心旺盛で、俊敏に動けるようになりたい! マタタビたべたい!

菊池 理香

吾輩は猫の下僕である。

立原 陽子

猫好きに悪い人はいない!

田村 はるな

小美たまネコ、もっと見つけたい!

安彦 汐莉

もふもふさらさら、顔を埋め愛が溢れます!

原田 成美

日々の生活に、猫ちゃんがいるだけで癒されます!

Editor's Voice



MILK EGG

運営チームが紹介!
おみたまみやげ

ミルクと
たまごの
関係



その場で食べる? おみやげにする?

小美玉には、牛乳と鶏卵の畜産農家がたくさんいます。

だからこそ、想いをもって農作物を作っている

生産者と一丸になって地域経済が回るような商品づくりが大切。

ここ小美玉では、茨城県おみやげ大賞を数々受賞するほど、

愛情に溢れた牛乳と卵を活かした商品がいっぱいあるんです。



Soft cream

——ソフトクリーム

空のえき「そ・ら・ら」内のヨーグルトハウスにある逸品。牛乳の旨味をギュッと閉じ込めた濃厚な味わいでリピーターが続出。ひと巻き多くてボリューム感もたっぷり! 観光や仕事の休憩時にぜひ。カップとコーンが選べます。



——おみたまヨーグルト

生乳使用率なんと90%。なめらかな口当たりで、コクと酸味のバランスがいい飲むヨーグルト。ブルーベリーやいちご、ゆずハチミツ、福来みかんなど、季節に応じて地域周辺で採れる果実を贅沢に使っています。

茨城おみやげ大賞

Yogurt



Pudding

——プディング

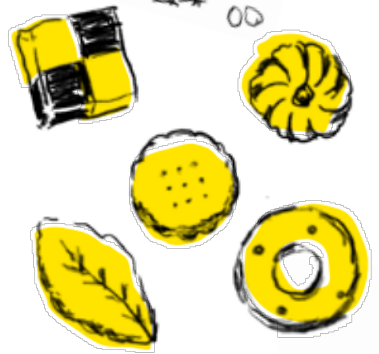
茨城のプリン主力は小美玉市に! 山西商店がつくる高級「おみたまプリン」と、小美玉ふるさと食品公社の定番ロングセラー商品「でせ〜るふらん」を是非食べ比べてみて! 共通するのは……美味すぎるっ!



——サブレ

茨城空港で販売している「空サブレ」箱にはかわいい飛行機イラストで子供へのお土産に。大人の皆さんには、小美玉産の玄米粉100%使用したアトリエプティボアの玄米サブレがおすすめ!

Sable



Parfait

——パフェ

カフェギャラリー・ベルデの魅惑の「大人のパフェ」は「SNS発信お断り」。理由は、その見た目の破壊力と、何層にも彩られたフルーツの総合力。美味しさに驚くパフェは、ここ小美玉でしか食べられない逸品です。

<カフェギャラリー ベルデ>

〒319-0122 茨城県小美玉市江戸575-5

TEL 0299-46-4647 営業時間 10:00 ~ 19:00



茨城おみやげ大賞

Baumkuchen

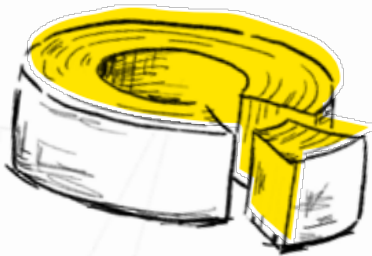
——バウムクーヘン

運営チームスタッフ的に牛乳と一緒に食べたいおやつ第1位のバウムクーヘン(笑)。アトリエ プティ・ボアの米粉を使ったバウムクーヘン Minoriz(みのり)は、お祝いギフトとしても最適。手土産に是非!

<アトリエ プティ・ボア>

〒319-0107 茨城県小美玉市小岩戸字北原1887-1

TEL 0299-56-2577 営業時間 10:00 ~ 18:00(水曜日休日)



私たちが
作っています

小美玉ふるさと食品公社の製造部工場長
木村智信さんに聞いてみた!



美味しさの秘訣

三方良しの考え方で、地域連携しながら美味しい商品を作ることを念頭においています。美味しいものを作るのは大前提として、小美玉の生産者同士では楽しくやることを心がけているので新しく面白いことが生まれやすいのかも知れません。

小美玉ふるさと食品公社

〒311-3413 茨城県小美玉市山野1628-42

(空のえき そ・ら・ら 内)

TEL 0299-56-6991 / FAX 0299-56-6992

https://www.omitamayogurt.jp/products/list.php?category_id=10



ここで
買えます

空のえき そ・ら・ら



円形の芝生に沿って、レストラン、直売所、乳製品加工施設が並び、「食べる」「買う」「観る」を体験できるスポット。フリーマーケットやライブイベントも定期開催します。地域文化の創造を担う場所なので、まずは情報収集に行ってみよう。

〒311-3413 茨城県小美玉市山野1628-44

TEL 0299-56-5677 / FAX 0299-56-5674

年中無休 営業時間 9:00 ~ 18:00

<http://sol-la-la.city.omitama.lg.jp/>



ダイヤモンド
シティ
小美玉
見つける。
みがく。
光をあてる。

発行

茨城県小美玉市 企画財政部 企画調整課
〒319-0192 茨城県小美玉市堅倉 835
TEL : 0299-48-1111

